

【来週の予定】長月から神無月へ

日	授業等	備考	下校
27月	月①～⑤		15:30
28火	火①～⑥	清掃なし	16:10
29水	水①～⑥ ※①②体育大会学年練習	体育着登校 放課後:体育大会係打合せ	16:30
30木	木①②⑤⑥③④ ※午後学年練習予備		
1金	金①～⑥ (⑤二者面談)	朝:教育実習解務式 中間2週間前	

・体育大会 10/6(水)弁当持参 ・中間テスト 10/15(金) ・第3回実カテスト 10/22(金) ・第4回実カテスト 11/8(月)

—3年生の制服登校について—

□例年3年生は中間テストが終わると毎日制服で生活していましたが、昨年度、コロナウイルスの感染症対策として、クリーニングが必要な制服ではなく、家庭で洗濯しやすい体育着の登校でも良いことにしました。今年度もコロナウイルスの感染状況から、昨年度同様の対応とし、中間テスト以降、制服でも体育着でも良いこととします。

□3学期からは、私立高校の入試も始まるので、入試に向けて気持ちを引き締め、普段から制服を着慣れて本番に臨むことができるよう、「毎日制服登校」を開始する予定です。

—制服の直し【保護者の方へ】—

□成長に伴い、制服の丈が短くなってきて生徒もいるかと思えます。

学校説明会・プレテスト・受験に向けて、上着・ズボン・スカートの丈を確認し、必要な場合は早めに直していただきます。12月には面接の練習も始まりますのでよろしくお願いします。

オウムの消防 —『ほとけさまの話』より—

むかし、インドのヒマラヤの山の中に、太い竹の林がありました。竹の林の中に、たくさんの鳥たちやけものたちが住んでいました。みんな助け合って仲よく暮らしていました。その中にアーナンダというオウムが混じっていました。

ある日のことです。はげしい風が吹いて、竹と竹がきいきいふれ合って火が出ました。火はたちまち四方に燃えひろがりました。すておけば(そのままにしておけば)みんな死んでしまうに違いありません。オウムはじっとしてられませんでした。すぐに飛び立ってどこかへ飛んでいきました。

オウムは山のふもとにある池に行っただけです。水に飛び込んで羽根をぬらしました。そして、そのままもともと来た道を引き返しました。そして、燃えている火の上に行くと、羽根に残っているわずかな水のしずくをふりかけました。オウムは死にものぐるいでした。何回となくそれをくり返しました。目は血ばしり、息はきれ、疲れ果ててしまいました。やめようとはしませんでした。

その様子を見ていたほとけさまは、「お前の運んだ羽根の水ぐらいで、この火事を消すことができると思っているのかね。」と優しく聞かれました。するとオウムは「消せるか消せないかわかりません。けれども、このままではみんな焼け死んでしまうのだと思うと、私はじっとしてられないのです。死ぬまで続けるつもりです。」と答えました。

ほとけさまは、深くうなずかれると、不思議な力をあらわしました。急に大雨がざあざあ降り始め、火事は見る見るうちに消えていきました。

「人事を尽くして天命を待つ」という言葉があります。自分のできる限り、最善の努力をすれば、それだけで十分価値あることだし、おのずと良い結果につながるという意味です。

進路に対する不安の多い3年生ですが、「できるかできぬか分からぬことは、できると思って最大限の努力をする」という気迫と努力で乗り切ってほしいと思います。頑張れ!